

## 第三回定例会

あかびら市議会

かわら版

No. 69

第3回定例会は、9月4日から15日までの12日間の日程で開催され、令和4年度各会計決算認定のほか、令和5年度一般会計補正予算案、条例改正案などの議案18件、意見書案2件を審議しました。全ての議案が全会一致で可決・認定・同意となりました。また、令和4年度決算に基づく赤平市健全化判断比率の報告・赤平市資金不足比率の報告を報告済としました。

一般質問は、6日に4名、7日に3名が行いました。(内容は3ページ以降に抜粋を掲載)



決算審査特別委員会の様子



意見交換の様子

### カフェ議会

8月22日に行ったカフェ

議会は、猛暑の中、急遽会場を2階のギャラリーから5階の音楽室に変更して行いました。暑い中、6名の方に来ていただき貴重な意見交換をすることができました。今後より多くの市民の方々に来ていただけるよう検討してまいります。

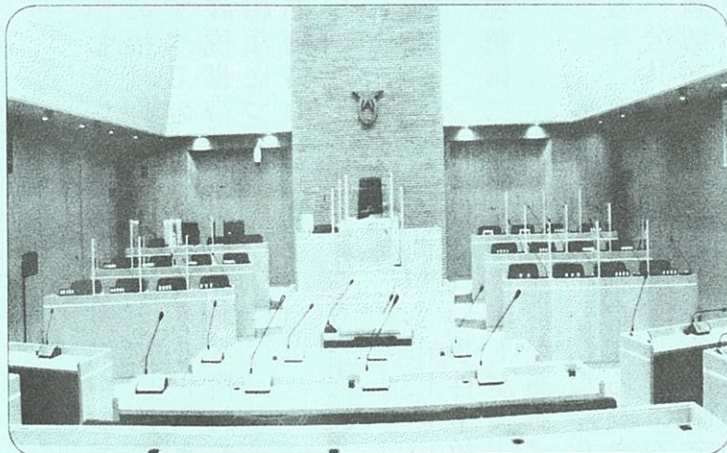
## 議会報告と意見交換会のお知らせ

改選後初となる議会報告と意見交換会を次の日程で行います。

◇11月14日(火) 18時～ 市役所  
3階議場

◇11月16日(木) 18時～ 東公民館

たくさんの市民の皆様のお越しを  
議員一同お待ちしております。



一般質問

新政クラブ



北市 勲

赤平市の医療について

【質問】「中空知地域医療構想調整会議」を通して市民が安全で安心な医療が受けられる医療環境づくりがどの程度進んでいるのか伺う。

【答弁】「中空知地域医療構想調整会議」は、ここ3年間コロナ禍による書面会議で十分な議論はされていない。

【質問】「中空知地域医療構想調整会議」に臨むにあたり、病院開設者の市長と病院長とで赤平市の医療の考え方について打ち合わせはされているのか伺う。

【答弁】赤平市の今後の大きな方針については協議できていない。

【質問】市長が考える医療環境の整備とは、どのような手順で、いつ頃までに実現しようとするのか伺う。

【答弁】今後の赤平市の医療については、現在、あかびら市立病院の在り方も含め、公立病院経営強化プランの策定を行っており、医療体制や地域連携などについて来年3月までに計画を策定する予定。

市役所の機構見直しについて

【質問】今回の選挙において行政需要の多様化、複雑化に対応するために市役所の機構見直しを表明された。この度の見直しの内容といつ頃までに実施されるのか伺う。

【答弁】機構見直しは重要な施策となっており、市民の利便性の向上や組織のスリム化を検討する必要があり、優先順位をつけて対応するよう行財政改革室で検討している。具体的な内容や実施時期については纏まり次第示す。

赤平市長・市議会議員選挙について

【質問】今春の市長・市議会議員の選挙活動において、公職選挙法に対する指導及び是正を受けた候補者がいたと聞いたが

事実か。事実であれば、指導及び是正の内容について伺う。

【答弁】当該選挙活動において2名の市議会議員候補が市議会議員選挙で使用できない種類の自動車を使用しており是正を求めた事案があった。

【質問】是正を受けた候補者に対する赤平市選挙管理委員会の対応の内容について伺う。

【答弁】是正を受けた2名の市議会議員候補者には公費負担の「車の借り入れ代」「燃料代」「運転手報酬」を辞退してもらった。

民主クラブ



伊藤 新一

福祉灯油について

【質問】灯油需要期を迎えると更なる価格の高騰も予想されるが、助成等の考えについて伺う。

【答弁】灯油価格の状況を鑑みると、特に低所得の方には大きな影響を及

ぼしているとの危惧している。令和5年度の福祉灯油については、すべての住民税均等割非課税世帯を対象とし、支給額については今後の灯油価格の動向を踏まえつつ助成上限額の増額についても検討してまいりたい。

公共施設等の環境整備について

【質問】近年、夏季に高温が続いている。公共施設の温熱管理は適切な状態を保つことが必要であると思うが、当市の公共施設のエアコン設置状況と今後の対策について伺う。

【答弁】エアコンの設置状況について、交流センターみらい、小・中学校、幼稚園、保育所、エルム高原温泉ゆつたり、炭鉱遺産ガイダンス施設、平岸コミュニティセンターに設置されている。エアコンが設置されていない市庁舎、総合体育館、ふれあいホール、他の公共施設等については利用する皆様の快適性の確保、執務にあたる職員の職場環

境の改善、熱中症対策を講じるうえで、冷房設備は必要であると考えているので、順次検討を進めてまいりたい。

犯罪被害者支援について

【質問】当市に於いても予期しない事件事故が発生し市民誰もが被害者になる可能性がある。犯罪被害者の支援に特化した条例を制定する動きが全国的に広がっているが当市における条例制定の考えについて伺う。

【答弁】犯罪被害は誰もがいつ遭ってもおかしくないことであり、支援には警察や自治体だけでなく関係機関、団体や住民を含む地域全体で行わなければならないことからそのための根拠規定が必要と考えている。今後は赤歌地区被害者支援連絡協議会の中でも協議を行うなど条例の制定に向けて検討をしてまいりたい。

# 日本共産党



木村 恵

マイナンバーカードについて

【質問】様々な報道があるが、赤平市ではトラブルや返納者は出ていないのか伺う。

【答弁】読み取り機の不具合というケースはあったものの大きなトラブルはない。返納者は1名発生している。

【質問】マイナ保険証についてマイナンバーカードを持っていない方に交付される資格確認書について伺う。

【答弁】カードを持たない方や保険証が紐づいていない方、また、紛失や、介護が必要な高齢者、カード取得が難しい方等を対象に無料で交付され、廃止期限を設けない予定となっている。

【質問】マイナ保険証は1枚で完結するということだったが、マイナ保険証がある方にも新たな文書が必要になるという、これについて説明を求めらる。

【答弁】厚生労働省は、マイナ保険証が使えない一部の医療機関も想定されることから、利用者には「資格情報のお知らせ」という文書を配布しマイナ保険証と一緒に持参していただくことを想定しているようだ。

ジェンダー平等について

【質問】「LGBT理解増進法」が施行された。理解増進や差別禁止についての考えを伺う。

【答弁】性的思考及びジェンダーアイデンティティを理由とする不当な差別はあってはならないとの認識のもと、国等と連携し、当市でできる役割を認識し推進していく。

【質問】2018年にも

# 参政党



今野 宙

同様の質問をした際、ガイドラインの配布などにも取り組むとのことだった。進捗状況を伺う。

【答弁】5年を経過し、取り組みの進捗という点では足踏み感を否めなない。ホームページや広報などを活用した啓発など、いわゆる「LGBT理解増進法」の取り組みを進めてまいりたいと考えている。

赤平市の未来像について

【質問】地方の過疎化、人口減少、少子高齢化などが進んでいるが、市長の考えとして人口を増やすのか、現状維持なのか。既存の施設、特産品の更なるアピールなど活気のある町にしていくのか等、どういった町にしていくお考えか伺う。

【答弁】第6次総合計画や第2期総合戦略にのっとり、人口の維持を図るための施策を進めている。移住定住に関しては現在、申請者も増えている。民間賃貸住宅家賃助成や、若い労働者の雇用を図るため住宅環境の整備、民間賃貸住宅に対する建設助成、リフォーム助成など実施している。子育て世代への支援も充実させ、人口維持に努める。世界最先端のロケット技術開発に取り組む企業等もあり、まちづくりに繋がるよう協力体制を整えている。既存施設や特産品PRについては、エルム高原やAKABIRABEス、炭鉱遺産ガイドンス施設等を活用しながら努めていく。農産物も売れる米づくりをテーマに赤平産ブランドの推進を図り、各イベントにも積極的に参加し、新たな赤平の特産開発に努める。コ

ロナ禍で中止していたイベントも通常開催し、商業関係にも活気が戻ってきている。今後についても官民一体となって活気のあるまちづくりに取り組んでいく。

学校給食について

【質問】給食の質と量についてどうお考えか伺う。

【答弁】給食は学校給食摂取基準に基づき、必要な栄養を摂取できるように、また、美味しい給食を提供できるように給食センターに勤務する栄養士が毎日の献立を作成している。量については厚生労働相が5年ごとに定める日本人の食事摂取基準の1日のおよそ3分の1を摂取できる量となっている。体格差や家庭における摂取量の違いにより、少ないあるいは多く感じる児童、生徒もいると思われるが、給食に関しては今後も同様に提供していく考えである。

# 新政クラブ



安藤 繁

## 環境問題について

【質問】家屋の敷地内に廃棄物や堆積物がある所が見受けられる。住民からの除却要望にどの様に対応して来たのか伺う。

【答弁】基本的には市が対応し、場合によっては警察、消防、町内会等と連携し指導を行ってきた。

【質問】過日、東文京町で火事があった。災害防止対策や近隣住民の迷惑となる堆積物等の除却に係る条例制定の考え方と火災の跡地の堆積物等の除却について、今後の対応を伺う。

【答弁】堆積物等の状況は改善の方向にある。今後は、除却の条例制定は研究していく。火災跡地は、所有者が早く整理すると話しており、履行されない場合は改めて指導する。

企業等の振興について  
【質問】企業等の人手不

足について市の認識と人材確保の取り組み、また、官民協力による外国人労働者の確保についての考えを伺う。

【答弁】多くの事業所で人員不足と思う。企業合同説明会・WEB等で人材確保を促進しており、今後も雇用を応援する体制を強化する。4年度は、外国人を65名受け入れているが、今後も外国人を受け入れる企業に助成を行う。

【質問】廃校を利用して人材育成や人口増加に成功している自治体がある。当市も空き校舎を活用し日本語学校や福祉専門学校等の事業の開設を検討しては如何か伺う。

【答弁】現在、旧3小学校活用検討会議で活用の検討をしており、日本語学校等についても検討を図る。

【質問】「民間賃貸住宅家賃助成」や「移住定住促進就職祝い金」の条件を緩和して外国人も助成対象としては如何か伺う。

【答弁】両制度は、定住を目的としており、3年で帰国する外国人実習生

は、対象にならない。

【質問】今後外国人の雇用は益々難しくなると思われる。永住権がない外国人にも助成する新たな制度を検討しては如何か伺う。

【答弁】新たな制度の制定については、今後研究して参りたいと考える。

【質問】外国人労働者が勤務地の近くに居住出来る様に市の管理する空き住宅を有効活用が出来ないか伺う。

【答弁】企業から相談等があれば住宅確保支援が出来る様取組んでゆく。

# 公明党



丸山 勝正

## 炭鉄港について

【質問】炭鉄港、日本遺産の今後の取り組みについて、赤平の炭鉱遺産ガイドンス施設は本年6月に来場者数4万5千人を突破、道内の小中学校の見学や大学の研修活用も増加している。日本遺産

『炭鉄港』の価値を高める今後の取り組みについての考えを伺う。

【答弁】昨年度13の市町で構成されている炭鉄港推進協議会主催の室蘭スワンフェスタPRブースでがんがん鍋を出店。小樽市はあんかけ焼きそば、室蘭は室蘭やきとりを出店し相互に交流を図った。今後も推進協議会の構成市町と交流を深め連携してまいりたい。

【質問】室蘭市、小樽市の小中学校との相互交流の考えはあるか。小樽観光の動員力はコロナ禍前133万人の外国人観光客があった。観光客を赤平に向ける取り組みを伺う。

【答弁】室蘭・小樽を含む道内各小中学校にパンフレットを送付中。外国人観光客を赤平に取り込めるようツアー会社にPRしていきたい。今後も炭鉱遺産の魅力を発信する。

## 移住・定住促進について

【質問】地域おこし協力隊の増員を図りデジタル

推進等を担う人材を確保し、移住定住促進につなげてはどうか考えを伺う。

【答弁】現在のところ、市全体として地域おこし協力隊の増員の計画はないが、それぞれの課の状況や受入体制によって、必要な業務がある場合には随時募集し移住定住の促進に繋げたい。

## スマホ相談会について

【質問】3キャリア対応のスマホ相談会の必要性について、赤平には販売代理店がないので大手3社別の相談会を企画できたら相談しやすいと思うが考えを伺う。

【答弁】3Gガラケーは携帯各社が順次サービスを終了していく。赤平市では10月から3回にわたり、北海道消費者協会主催によるスマホ教室を開催するが今後、機種変更に対応した相談会等の開催は必要と考える。近隣市において大手3社による相談会を開催した実績があり参考にしたい。

# 新政クラブ



渡部 修之

協働と共創のまちについて

【質問】現在、赤平市では市民に対し様々な支援をしているが、更なる支援拡充の為に国・道が進めている重層的支援体制整備事業に参加する意思があるのか伺う。

【答弁】事業の必要性は認識しているが、計画の策定も必要であることから、一定程度の時間が重要である。今後、協議を重ね、本市として方向性などを判断していく。

赤平の将来像について

【質問】人口減少に歯止めが掛からない赤平市の現状の中で十年後、二十年後に赤平市が抱えるであろう課題を予測して、2期目の畠山市政でやるべきこと、又は、やっておくべきことはないのか、現職市長として、どの様に考えているのか伺う。

【答弁】地域の人口減少により、生活水準の低下や、まちの機能の維持が困難になることも含め、ほとほと困っている市民を一人でも少なくすること、を最優先に実行することが私の公約だ。本市が抱える課題について将来人口推計や財政負担を考慮し、各種事業に取り組んでいるので、ご理解頂ければと思う。

【質問】ほとほと困っている市民を一人でも少なくすることを最優先に実行するという市長の公約は、現時点の赤平市の対策事項であり、将来の赤平市に対する対策ではないと思う。財政負担を考えるならば、事業を計画する前に国や道に予算をもらう方法はないか相談しに行くことも行政の仕事だと思いが、市長の見解を伺う。

【答弁】地域の将来を考える上でも暮らしに身近な政策を最優先にし、安心して暮らせるまちをつ

くることは大事なことである。行政の効率化のみを追求するのではなく、住民の豊かさを求めることが、本当の自治体、行政の役割であると考えている。



## 第17回赤平市赤い羽根共同募金チャリティー



チャゲ&飛鳥の「YAH YAH YAH」を熱唱  
沢山の市民の方々と盛り上がりました。

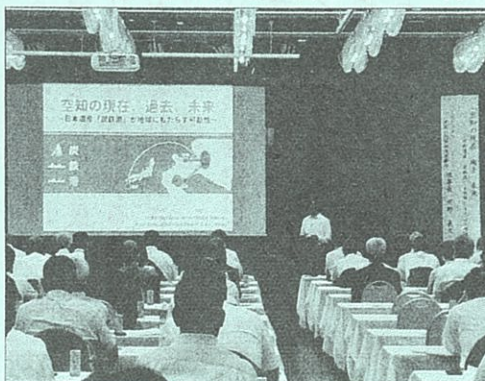


メインボーカルは左から  
渡部議員、丸山議員、今野議員

## 北海道市議会議長会道央支部協議会議員研修会

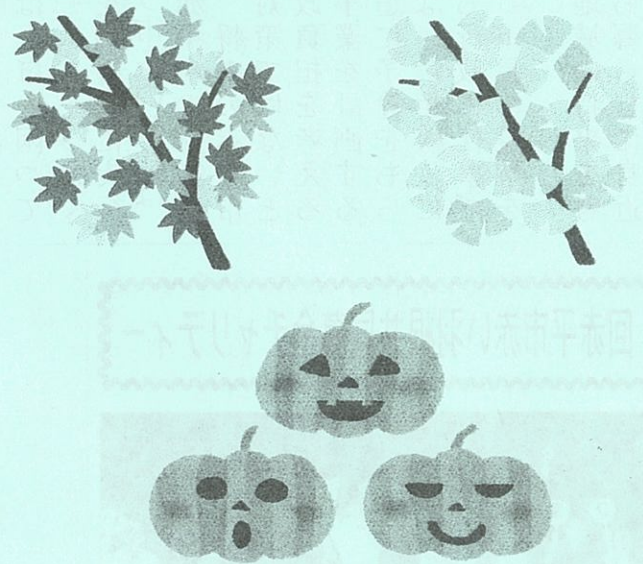
8月25日に4年ぶりに研修会が開催され、「日本遺産『炭鉄港』が地域にもたらす可能性」と題して、NPO法人炭鉱「ヤマ」の記憶推進事業団新理事長平野氏から講演をいただきました。明治維新から始まり北海道開拓と産業革命・戦中戦後の高度経済成長を日本の屋台骨として支えた炭鉄港。点在する遺産を面で活用し地域連携を深めることが衰退先進地『空知・赤平』の関係人口創出につながるなどのお話を聞くことができました。

(丸山)



## 議会の動き

- |  |   |
|--|---|
| 7/27 議会改革検討協議会   | 10/5 北海道市議会議長会道央支部協議会（三笠市）              |
| 8/18 行政常任委員会<br>・後期高齢者医療保険料の更正について   | 10/25 第18回全国市議会議長会研究フォーラム（北九州市）（～26日まで） |
| 8/25 北海道市議会議長会道央支部協議会議員研修会（岩見沢市）   | 10/28 東京赤平会総会（東京都）                      |
| 8/30 議会運営委員会   | 10/31 第17回地域医療政策セミナー（東京都）               |
| 9/4 赤平市議会第3回定例会（～15日まで）<br>" 議会運営委員会<br>" 決算審査特別委員会（正副委員長互選）   |   |
| 9/5 行政常任委員会<br>・議案第26号 赤平市職員の特殊勤務手当支給に関する条例の一部改正について<br>・滝の川斎苑火葬場使用料の改定について<br>・農業委員会委員報酬の支払遅延について     |   |
| 9/8 決算審査特別委員会（～13日まで）<br>・令和4年度赤平市一般会計、国民健康保険・後期高齢者医療・用地取得・介護サービス事業・介護保険特別会計、水道事業・病院事業・下水道事業会計決算認定について |   |
| 9/15 議会改革検討協議会   |   |



## ◎意見書2件可決

全会一致での採択2件

\*国土強靱化に資する道路の整備等に関する意見書

\*ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書

※各議案に対する賛否は赤平市議会ホームページに掲載されています

## 編集後記

長引くロシアとウクライナの戦争や円安により、ガソリンや電気料金、食料品など諸物価の高騰が続いております。また、今夏は経験した事の無い猛暑が続きました。コロナ感染症もあつた程度落ちつき経済活動が持ち直しかけておりましたが、再度、増加の傾向も見受けられ、市民生活はあらゆる面でいまだに厳しい状況に置かれていると思います。

9月の定例会では、物価高騰対策として市民1人当たり1万円助成する補正予算が提案され可決されました。

11月には、議会報告と意見交換会を実施の予定です。多くの方のご意見・要望・ご相談を伺えればと議員一同お待ちしております。

（安藤）

かわら版編集委員会  
委員長 木村

渡部 若山 丸山 今野 安藤 木村  
修之 武勝 正宙 繁恵

※このかわら版に関するお問い合わせは、赤平市議会かわら版編集委員会TEL32-1858までお願いいたします。